

Game Report

開催場所：日本経済大学 都築記念体育館

試合区分：第 24 回全九州大学バスケットボール戦

試合期日：2017 年 10 月 14 日(土)

試合時間：16:40～

主審：石嶺 良方

副審：松永 雄平

福岡大学	○ 8 1	16	—1st—	11	● 4 2	鹿屋体育大学
		24	—2nd—	8		
		17	—3rd—	14		
		25	—4th—	9		

第 1 ピリオド

前節 2 位の福岡大と前節 6 位の鹿体大の対戦は、福岡大 # 6 松尾の先制点で始まる。鹿体大はオールコートで激しくボールを奪いにかかるが、なかなか得点につながらない。福岡大はアウトサイドからのシュートに加え、# 6 松尾、# 7 7 川上のオフェンスリバウンドでセカンドチャンスを狙う。対する鹿体大は、# 4 3 横川の 3 P シュートで応戦するも 16 - 11 で第 1 ピリオド終了。

第 2 ピリオド

福岡大のリードで迎えた第 2 ピリオドは、鹿体大 # 1 2 川尻の得点でスタート。福岡大は # 1 3 夏井を筆頭にパスカットを狙い、速攻で得点を重ねる。鹿体大はゾーンディフェンスに切り替え、アウトサイドからの得点を抑えにかかるも、ファウルが続き思うようにプレッシャーがかけられない。対する福岡大は、落ち着いたパス回しと、# 1 7 丹のアシストで更に引き離しにかかる。40 - 19 で福岡大が大きくリードし前半が終了。

第 3 ピリオド

福岡大 # 1 3 夏井のバスケットカウントで第 3 ピリオドが始まる。両チーム共に粘り強いディフェンスで相手のミスを誘い、チャンスを作るも、リングに嫌われ得点につながらない。鹿体大は # 0 池田の 3 P シュート、# 2 1 池浦のシュートで点差を縮めようとする。なんとか流れを引き戻したい福岡大は、# 2 3 森本を投入。アウトサイドからの得点と # 6 松尾のリバウンドで応戦。57 - 33 で第 3 ピリオドが終了。

第 4 ピリオド

福岡大のリードで迎えた最終ピリオド。# 7 7 川上の 3 P シュートで勢いを取り戻した福岡大は、# 3 0 太田の安定したパス回しと、息の合ったセットプレーでさらに得点を重ねる。対する鹿体大は # 3 2 久次と # 1 安田を起点に得点を狙うも、ミスが続きなかなか得点することができない。連続得点でさらに点差を離し、福岡大は # 5 6 向井、# 3 7 岡本、# 3 9 早川が出場し、最上級生としての存在感を示す。チーム全員の団結力を見せた福岡大が 81 - 42 で勝利を収めた。